

第50回中国・四国地区ジュニアリーダー研修会 ふりかえり 2

今回の研修会は2回目の参加で、来年、高校生としてどのようなジュニアになりたいか考えることができた。

1日目。最初のKYTの講義では、なぜ子どもの事故が多いのか、KYTの意義などを学んだ。市のジュニアが小学生にKYTをすることがあるので、とても勉強になった。頭ごなしに「危ない」と言うのではなく、「なぜ危ないのか」をわかりやすく説明することが大切だ。全体交流会では、新しいレクを知ったり、知っているレクでも他の場所では少しずつやり方が違ったりしていておもしろく、とても刺激になった。

2日目の野外活動ではカレーライスを班のみんなで作った。私はかまど係になった。今までかまど係をしたことがなかったので、高校生になる前に一度は経験しておきたかった。火の調節やまきの組み方を教わったり、ご飯がたけるサインを見たりした。時々、水分補給の確認や体調の確認をした。みんなで作ったカレーはもちろんおいしかった。



コース別活動では、キャンプファイアーのエールマスター（司会・進行役）になった。いろいろハプニングがあったが、なんとか無事にけがもなく終わった。みんなの盛り上がりもよかったので、キャンプファイアーは大成功だった。しかし、個人の反省点として、呼び出しコールを事前に行っていなかったせいで、あまり盛り上がらなかった。事前準備のツメが甘かった。

3日目は班別とコース別で振り返りをした。振り返りのあとには3日間の写真をスライドショーで見たり、レクをしたりした。

この研修を振り返って気づいたことは、自信のなさだ。山口でできていたことが中四でできていなかったり、不安が強すぎて積極的に前に立てなかったりしていた。高校生になると、前に出てレクをしたりすることが圧倒的に増えるので、もっといろんなことにチャレンジして自信をつけたい。不安を減らすためにもう少しポジティブな考え方を心がけようと思う。

この3日間で、目指したいと思ったジュニアリーダーは、明るくて優しく、小学生にも他のジュニアにも、大人からも頼られるジュニアリーダーになることだ。一生懸命楽しみながら頑張って、来年の中四ではパワーアップした、にこにこ顔の私でいたい。（中3）